

近代足利の歴史を知る

—^{きむらはんべえ}木村半兵衛と小俣小学校—

足利の歴史には、木村半兵衛が何人も登場してきます。小俣小学校を開いた人物も木村半兵衛です。足利市立小俣小学校の校庭に立っている「郷覺創設碑（ごうこうそうせつひ、大正2年・1913年建碑）は、早稲田大学の創始者である大隈重信をして「君は木半を知っているか」とよく言わしめたほどに中央でも名の知られていた足利の偉人木村半兵衛の顕彰碑です。講座では「郷覺創設碑」の碑文を解説しながら、半兵衛の業績や草創期の小俣小学校の姿などを明らかにしていきます。また、碑の建設に当たり大隈内閣や桂内閣の時代、内閣書記官をしていた2人の人物が多大な協力をしていたこと。また明治41年4月26日に大隈伯爵が大田原子爵らと共に足利を訪問した時の様子などにもついて触れていきます。

講師：足利大学 大沼 美雄 講師

講師の研究テーマ：栃木県足利地方・那須地方の地域史研究、
特に近世・近代史料の詳細読解、明治期の人物研究など

日時：平成30年7月31日（火）

午後1時30分～午後3時
（午後1時より開場）

会場：足利大学本城キャンパス
本館 1 階交流センター

定員：50名 参加費：無料



足利大学教養講座

「真理は人を自由にする」という考え方のもと、足利大学では高等教育機関の教養教育を広く市民の皆様提供することで、地域に貢献する知の拠点づくりを目指しています。人文科学、社会科学、自然科学、芸術など、リベラルアーツをテーマとして、月1回程度の講座開催を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。

主催：足利大学 後援：足利市、足利市教育委員会

問い合わせ先： 足利大学 法人本部 ☎0284(62)9981